



シャローム shalom

No.180

2026.秋号

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



日本バプテスト連盟医療団 地域医療連携懇話会

なんの かずよ
地域医療支援部 課長 南野 和代

9月19日(土)、地域の医療機関や介護事業所の皆さまにご参加いただき、「2026年度 日本バプテスト連盟医療団 地域医療連携懇話会」を京都ブライトンホテルにて開催しました。

当医療団では、地域の皆さまと顔の見える関係を築き、それぞれの診療機能や役割を理解しながら、より良い連携につなげることを目的に、定期的に懇話会や研修会を開催しています。

第1部では、木下浩一副院長・外科主任部長より「外来化学療法室リニューアルのご案内」を行いました。続く特別講演では、京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授 矢部大介先生をお迎えし、「地域一丸のダイアベティス(糖尿病)対策の意義と課題」をテーマにご講演いただきました。

ダイアベティス(糖尿病)の治療についてだけではなく

“糖尿病”という言葉や病態を持つ固有のイメージからの脱却について考える貴重な機会となりました。

講演後の懇談会では、左京医師会会長 米田武史先生による乾杯のご発声をいただき、和やかに開会しました。日頃より患者さんの診療を通じて連携いただいている先生方や医療・介護関係者の皆さまと、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換や情報共有を行うことができました。ご多用のなか、多くの皆さまにご参加いただきましたこと、改めて心より御礼申し上げます。

日々の連携に加え、こうして直接顔を合わせ、言葉を交わすことのできる機会を大切にしながら、今回の懇話会でいただいたご意見やつながりを、これからの患者さんの診療や支援に生かしてまいりたいと思います。

今後も地域の皆さまと互いに相談し、支え合える関係を築きながら、より良い地域医療連携に取り組んでまいります。

News 「わがまち手術室プロジェクト」に、みなさまのご寄附をお願いいたします

京都市左京区北白川にある日本バプテスト病院は、地域密着型病院として70年余り、理念である全人医療を実践し、地域の皆さまに医療を提供してまいりました。

当院は左京区内で外科手術が可能な数少ない病院の一つであり、手術治療の継続は地域医療にとっても重要であると考えています。

そのような中、手術室の空調システムの改装が当院における喫緊の課題となっています。

しかしながら昨今の物価高騰などをうけ医療機関を取り巻く財政環境は厳しく、改装には多額の費用を要します。

そこで、『わがまち手術室プロジェクト』として皆さまからのご寄附というかたちでのご支援をお願い申し上げる次第です。

今後も地域の皆さまに安心して医療が提供できるよう、どうか、皆さまの温かいご支援と応援を、心よりお願い申し上げます。



「わがまち手術室プロジェクト」の詳細はこちらから



Relay Column バプテスト老健リレーコラム

vol.26 こんにちは、チャプレンです

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



老人保健施設での牧師室の働きは主に「礼拝」と「訪問」です。礼拝は会議室を礼拝用に整えて、通所リハビリは第1・3、療養棟は第2・4金曜日のお昼に行っています。イースターやクリスマスの礼拝も行っており、このような特別礼拝を機会としてお昼の礼拝に参加される方も少なくありません。礼拝は「心がすーっとする」、「讃美歌が懐かしい」、「自分らしい自分になれる」などの声が聞かれ、心穏やかに過ごしていただく場です。また、訪問は、療養棟は週に1回、訪問の希望者やニーズのある方、スタッフからの紹介などで個別に訪問し、その方々の物語や思いを聞かせていただいています。通所リハビリでも継続的に牧師室スタッフが声をかけお訪ねしています。

礼拝にしろ、訪問にしろ、老人保健施設で出会った方々が病院に入院された際、見知った顔を見ると「ほっとする」とおっしゃいます。医療団施設を横断する働きによっても、お一人お一人が穏やかにお過ごしいただけるようお願いしています。

施設付き牧師を「チャプレン」と言います。ご希望がありましたら、どうぞチャプレンをお呼びください。

薬でつながるちょっといい話



vol.53 点鼻薬の3つのメリットについて

さとう かずお
薬剤部 佐藤 和生



皆さんは点鼻薬を使用したことがありますか？ アレルギー性鼻炎の方は馴染みがあるのではないのでしょうか。現在はそれ以外にも多くの種類が発売されています。そこで今回は、点鼻薬について紹介していきます。

点鼻薬のメリットのひとつ目は、鼻の粘膜には血管が豊富なため、成分が素早く吸収されて「注射並み」の即効性を発揮することです。最近ではこの強みを活かし、救急用の点鼻薬が次々と発売されています。具体的には、てんかん発作時、重症低血糖時、アナフィラキシーショック時、片頭痛の急性期といった、急を要する疾患の治療薬です。

メリットのふたつ目は、注射の代わりとなる点鼻薬があることです。例えば、インフルエンザワクチンの点鼻薬も発売されていますので、注射が苦手なお子さんでも安心して受けることができます。

メリットの三つ目は、鼻にスプレーするだけなので使い方がとても簡単なことです。救急用など急を要する場面で使用するときも安心です。ただし、いざというときに慌てないよう、事前に正しい手順や注意点を薬剤師にしっかりと確認しておきましょう。



健康・栄養 第63回 ～食こぼれ話～

かねこ みどり
管理栄養士 金子 緑



今回は高齢期を元気に過ごすため、食事で気をつけたいポイントをご紹介しますと思います。

高齢期になると、「噛む力」「飲み込む力」「味覚」の3つが問題点となります。そうならないために今から準備しておくことが大切です。高齢期を迎えられた方だけでなく、これから迎えられる前の方にもおススメです。

1. 噛む力を落とさないために・・・

「噛める」はなんといっても「歯」の本数で決まるのではないのでしょうか。「8020運動」は1989年より厚生省と日本歯科医師会が推進している運動です。80歳になって20本以上、自分の歯を保とう!という運動で、自分の歯が20本以上あれば、硬い食品でもしっかり噛め、食生活に満足できると言われています。そしてこれを達成している方は年々増えているそうです。そのためには子供の頃から歯についての知識、検診なども大事と言われています。自分の歯で噛めるよう今からでも歯を大事にしましょう。また噛めなくなっている原因として、やわらかい食品が好まれていきます。テレビでも「歯がいらないうえね〜」「溶けていきましたよ〜」と食レポをされていることがあります。現在人は昔に比べると、噛む回数が4000回→620回になっているそうです。柔らかい食品ばかりではなく1つでも噛み応えのあるものを選びましょう。

2. 飲み込む力を落とさないために・・・

飲み込む力はなかなか気づかないものなのだそうです。飲み込むことは普段意識をせずに行っているからだそうです。また、高齢期になると行動範囲が狭くなったり人との接触が減ったりすることなどもあり、声をしっかり出すことなども減ってくる方があります。また高齢期でなくても、コロナ渦などもあり行動が以前より制限をし、外出の機会が減り、話をしたり、笑ったりする機会も減ることが喉の老化に関係があると言われています。

● 日常的にできる方法

1. 小さくぼそぼそ話すのではなく声をしっかり出す。
2. くすくす笑いよりわっはっはと大声で豪快に笑う。
3. カラオケや合唱などでお腹から声を出して歌を歌う。

3. 味覚を落とさないために・・・

年齢を重ねると、舌の表面にある味覚を感じるセンサーである味蕾の数が減ります。高齢期には新生児の2/3になっていると言われます。それにより濃い味を好んでしまうことがあります。

また味覚は味だけではなく、食べ物のおいしさや食感、噛んだ時の音、温度、食品の色なども関係するなど色々な感覚を総動員しています。

● 味覚を鍛える方法

1. 食事は一部の同じ食品ばかりを食べるのではなく、まんべんなくバランスよく色々な食品をと摂るようにしましょう。また何を食べているのか、どんなにおいがしているのかな、食感はどうだろうかなど、食レポをするように意識して食べてみるのもいいかもしれませんね。
2. 濃い味に慣れてしまうと味のセンサーが鈍ると言われます。例えば、白いごはんはそれだけで甘く感じるものです。しかし、ごはんにふりかけや佃煮、梅干しなどと一緒に食べてしまうと食品自体の旨味を感じにくくなり、本来食品の味だけで食べられるものののに、味を濃くして食べてしまっていることになります。食材本来の味を大切にしましょう。
3. よく噛んで食べましょう。
噛むことで唾液がしっかり出て、旨味がアップする効果があります。唾液は消化酵素で食品を分解し、でんぷんを麦芽糖に分解してくれます。

飲み込みにくいなあと思ったら・・・

当院には、言語聴覚士や摂食嚥下認定看護師が在籍しています。飲み込みにくいと感じたら、主治医を通してご相談ください。



聖書の小道

第70回

「『祈りは力』ということ」

あなたが祈るときは、奥まった

自分の部屋に入って戸を閉め、

隠れたところにおられるあなたの父に

祈りなさい。そうすれば、隠れたことを

見ておられるあなたの父が報いてくださる。

マタイによる福音書
6章6節

みやがわ ゆみこ
牧師・チャプレン 宮川 裕美子



ある牧師のお話です。その先生が、牧師室が過去のイースターに配った春蒔き種(アサガオ)を植えて種を取り、毎年花を咲かせておられることは知っていました。知らなかったことは、アサガオの花が咲くとその花を摘んできてテーブルの上に飾り、病院・牧師室を思い出しながら毎朝の祈りの時をもっておられたことでした。その祈りの時間には家族も部屋に入ることをされなかったそうで、この話をご家族からお聞きして、主イエスの言葉が思い出されました。

隠されたところで捧げる祈りはとても静かな行為です。しかしそれは関心を向け続けるということにおいて、積極的かつ誠実な愛の行為です。また、祈りは神に捧げ、とりなす行為でもありますから、祈りに覚えられた者が神の祝福にあずかるという貴い贈り物です。このような贈り物は決して多くはありません。不断の愛と神の祝福という贈り物への感謝と喜びは、受けた者の心の糧(力)となります。

新任ドクター紹介

てんじん ひろし
脳神経外科 主任部長 **天神 博志**
2026年10月1日着任



専門は脳血管障害です。ライフワークとして脳卒中の予防に取り組んでいます。趣味は脳神経外科そのものかもしれません。手術シミュレーション用の脳の模型などを作っています。運動は柔道(大学生時代)、登山、スキー、ラジオ体操をしています。人にやさしい医療を心がけています。よろしくお願いします。

専門分野 脳血管障害

資格認定

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会指導医
日本脳神経血管内治療学会指導医
日本脳卒中の外科学会指導医
日本小児神経外科学会技術認定医
日本脳ドック学会専門医



イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133
加入者名 一般財団法人
日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課
TEL 075-702-5926



オンラインでのご寄付も受け付けています

お知らせ ホスピスボランティア募集

日本バプテスト病院ホスピス病棟では、継続的に活動してくださる20歳以上のボランティアを募集しています。



活動内容

- ・ティーサービスとお話し相手(曜日固定)、お散歩、見守り、ベッドまわりの整理整頓
- ・ホスピスの環境整備
- ・ベランダやロビーの植物の水やりやお花のお世話
- ・月に数回あるイベントのサポート(季節の行事やコンサート等の写真撮影や車椅子・ベッドの誘導)
- ・季節の飾りつけ(ひな祭り・端午の節句・クリスマス等)

ご応募方法

ホスピスボランティア応募と明記し、氏名・住所・年齢・電話番号とメールアドレス、簡単な応募の動機や自己PRをお書きのうえ、メールまたはFAXでお送りください。応募を確認次第、こちらよりご連絡致します。その後、当院までお越しいただき、簡単な面接と書類手続き、研修等が必要です。(近親者を1年以内に亡くされた方のご応募はご遠慮いただいております)

お問い合わせ

TEL 075-702-5988 FAX 075-701-9996
Mail volunteer@jbh.or.jp 担当 総務課 松屋

献金・献品 感謝ご報告 (2026.5.1-7.31) 敬称略

日本基督教団 洛陽教会 日本バプテスト連盟 工藤 里香
京都府医師会看護専門学校 浜上 文子 今井 紀代子
日本バプテスト 相模中央キリスト教会 木原 静
日本キリスト教団伏見教会 瀬口 泰弘・恵里子 菊地 尚子
鴨東教会 教会学校 松本 薫 日本基督教団 伏見東教会
日本基督教団 伏見教会 衣川 いつ子 宮川 裕美子
白戸 紀二六・治代 松本 俊之助・幹子 匿名5名

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだ、こころ、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.180 2026年10月発行

発行/一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人/代表理事 尼川 龍一 編集/日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <https://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <https://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト訪問看護ステーション しおん <https://www.jbh.or.jp/shion.html>

バプテスト居宅介護支援事業所 <https://www.jbh.or.jp/about/section/chiiki/chiiki-renkei/kyotaku.html>